令和７年７月 24 日

浜松市産業部林業振興課　御中

静銀経営コンサルティング株式会社

天竜林業イノベーションスクール第５回 実施報告

１．実施概要

日　　時：令和７年７月 24 日（木）14:00～17：00

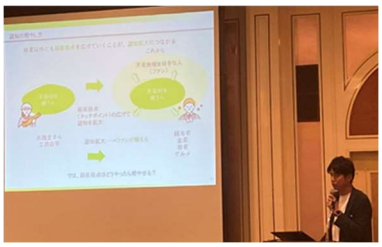
会　　場：グランドホテル浜松２階桃山

スクールカリキュラム：

内容	講師
「地域資源を活かす事業の作り方と続け方」	静銀経営コンサルティング㈱ 吉田　祐樹
「持続可能な上質な田舎へ～はじまりは百年の森林構想から～」	西粟倉村役場 萩原　勇一氏
「未来の里山をつくる」	㈱エーゼログループ 西岡　太史氏
本日の振り返り 質疑応答	静銀経営コンサルティング㈱ 吉田　祐樹
	西粟倉村役場 萩原　勇一氏
	㈱エーゼログループ 西岡　太史氏

２．講演内容

（１）　「地域資源を活かす事業の作り方と続け方」



「選ばれる産地」になる為には、「認知」の獲得が必要であり、木材を利用する工務店等、林業のサプライチェーン外にも顧客接点を広げていくことが有効であると示した。その手法として、西粟倉村の地域資源を活用した戦略が参考になり、シナジーマップ等を用いて、林業と他の産業のつながりや連携の可能性について、講義の中で説明した。

（２）　「持続可能な上質な田舎へ～はじまりは百年の森林構想から～」

西粟倉村役場の萩原氏より岡山県西粟倉村の取組について説明を受けた。西粟

倉村が実施した「百年の森構想」を中心に、地域資源を活かした持続可能な地域づくりの実例について示され、森林という村の大切な資源を再生・活用することで、地域経済の活性化、雇用創出、人口減少の抑制など、複合的な成果を上げた取り組みが紹介された。また、この取り組みは、地域ごとの特長を活かした戦略構築が重要であると説明を受けた。

（３）　「未来の里山をつくる」

エーゼログループの西岡氏よりベンチャー企業として西粟倉村で行った取り組みについて講義を受けた。これまでの林業の習慣だった分業化や中間流通の介在をできるだけ減らすことで、小規模林業地の木材価値を高めることにつながった。ないものを取り込むのではなく、今ある資源をどう活かすかにフォーカスすることが大切であると述べ、行き当たりばったりでなく「行き当たりばっちり」を目指し試行錯誤を繰り返すことが大事であると話された。

（４）　本日の振り返り・質疑応答

講義を受けてグループ毎に感想を話し合った。

講師への質問では、移住者等の「外の視点」を取り込む仕組みとは何か、百年の森構想を経て、今後目論む事業展開等についてなど様々な質問が挙げられ活発的な意見交換が行われた。

以上